

マルコが聖霊によって書いています。

マルコ 16 : 1-14

- 1 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。
- 2 そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行った。
- 3 彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。
- 4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。
- 5 墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。

6 青年は言った。

「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。

7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。

私はいつもこの場面を考えます。

こう言っているようで…。「皆さん！ あ…、それから JD も。」

ペテロは弟子の1人ですよ。

これにはワケがあって、少しお話します。

7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。(特にペテロには確実に。そのわけは分かりますね。)

『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。

前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。」

8 彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。

And they went out quickly, and fled from the sepulchre; for they trembled and were amazed: (KJV)

Amazed (驚く) よりも、Bewildered (当惑する) Baffled (困惑する) の方が理解できると思います。

彼女たちはただ混乱していたのです。

8 そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。(恐れでいっぱいだった。)

9 さて、週の初めの日の朝早く、よみがえったイエスは、最初にマグダラのマリアにご自分を現された。

彼女は、かつて七つの悪霊をイエスに追い出してもらった人である。

10 マリアは、イエスと一緒にいた人たちが嘆き悲しんで泣いているところに行って、そのことを知らせた。

これら全てを通して、彼らが経験している激しい感情に、皆さん、気付いていますか。

11 彼らは、イエスが生きていて彼女にご自分を現された、と聞いても信じなかった。

明らかに、マグダラのマリアは信じ、弟子たちは信じませんでした。

12 それから、彼らのうちの二人が徒歩で田舎に向かっていたとき、イエスは別の姿でご自分を現された。

13 その二人も、ほかの人たちのところへ行って知らせたが、彼らは信じなかった。

14 その後イエスは、十一人が (イエスを売ったユダを除いた弟子たち。ユダはこの前に首を吊って自死しています) 食卓に着いているところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。

よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。

復活の日のこの時間を神が祝福して下さるように、共に祈りましょう。

主よ、あなたは今朝、この教会にいる全ての人の心を知っておられ、見ておられます。
あなたは全ての人の心を、全ての心配事も、重荷も、恐れも知っておられます。
主よ、あなただけができる方法で私たちの心に語り、励まし、力づけて下さい。
あなたに求めます。
イエスの御名によって。アーメン。

毎年復活祭には、主が私に何を語らせたか、時間を取って主を求めます。
すると先週、主はあることを示されました。
それは今までに見たことのないもので、それについて知ってはいるし、確かに読んだこともあったのですが、以前はその厳しさ、非道さを本当に十分理解したことがなかったのです。
主がまさに示されたのは、十字架刑がイエスの弟子たちとイエスに従った人たちを、どれほど恐れさせ、動揺させるものであったかということ。
福音書の十字架刑と復活の記述を再び見ていった時、十字架刑の間、この人たちが経験した非常に強い感情の詳細な表現に、私は打ちのめされてしまいました。
イエスは復活のことも弟子たちに話していましたが、それは信じられないことで、そのあり得ないことが起こったのです。
彼らは理解できず、全く分からなかったのです。

それは弟子たちやイエスに付き従った者たちだけでなく、彼の近くにいた者、すなわち番兵も同じです。
マタイ 28:4-5

4 その恐ろしさに番兵たちは震え上がり、死人のようになった。

今までに恐れでいっぱいになって、実際に体が震え、凍ったように動けなくなったことがありますか。
それが彼らに起こっています。

5 御使いは女たちに言った。「あなたがたは、恐れることはありません。」

女たちが恐れていなかったなら、御使いはこう言うのでしょうか。
彼女たちはとても恐れていました。

5「あなたがたは、恐れることはありません。十字架につけられたイエスを捜しているのは分かっています。」

ヨハネ 20:9

彼らは、イエスが死人の中からよみがえらなければならないという聖書を、まだ理解していなかった。
彼らはそのことを、ただただ理解できていなかった。
見抜くことができず、理解できなかった。

ルカ 24:11

この話はたわごとのように思えたので、使徒たちは彼女たちを信じなかった。

これは注目ですよ。

彼らは彼女たちを信じなかった。

なぜなら、使徒たちには戯言のように思われたから。

ナンセンス。馬鹿げている。全く理にかなわない。あり得ない。絶対に。

そのため恐れ、当惑し、信じず、敢えて言うなら、混乱すらしていました。

「何が起きているんだ?!」「一体どういうことだ?!」

彼らは皆、絶望的な感情になっていたようです。

彼らの世界は粉々に破壊され、彼らの内面が根底から崩壊しました。

敢えて言うと、弟子たちはそもそも、なぜイエスが十字架につけられたのか理解できていなかったのです。
こんなことが起こるはずではなかった。

でも起こってしまった。

私はペテロのことを思います。

イエスはカエサリアのピリピで、弟子たちに話しました。

「わたしはもうすぐ死ぬ。人の子は引き渡され、はりつけにされる。それは必ず起こるのだ。」

その時のペテロの反応は、「そんな事は起こりません。絶対に。」

「いや、ペテロ。それは必ず起こる。」

そして、わたしはよみがえる。それは必ず起こらなければならないのだ。」

イエスはペテロにはとても厳しかった。

そうしなければならなかったのだと私は思います。

ペテロに向かって、「**下がれ、サタン。**」(マルコ 8:33)

イエスが怒って、激しい口調だったとは、決して思わないで下さい。

しかし、サタンがペテロの心をとらえていました。

皆さん、理解しなければなりません。

サタンは、イエスが十字架にかかれば全て完了すること、終わりだということを知っていました。

ある人にとっては驚きかもしれません。

しかしサタンは、あなたや私が知り得るよりも、もっと御言葉を知っているのです。

「そんな事が起こるはずがないよ。」

起こりました。

でも、彼らは不信仰のために受け入れることができず、言うまでもなく、信じるができなかった。

これは、弟子たちが十字架刑後に、なぜ恐れて隠れていたのかを説明していると思います。

そしてまた、十字架刑の前に、ペテロがイエスを否定した説明にもなると思います。

公平に言うなら、彼らの全世界が崩れ落ちていて、弟子たちは完全に絶望しきってしまったのです。

とても悲しいことに、今日多くのクリスチャンが主を疑い始め、主を求めることを最も必要とする時に、主から離れようとしています。

それは全て、神のやり方やその理由を理解していないから。

彼らにとっては、神のやり方は全く理にかなわないのです。

神が行うあらゆる事が全く理解できなくて疑い始め、恐れも伴って来る。

あなたのクリスチャン人生に、そんな時がありましたか。

皆さんが私に、「最高に素晴らしい実例だと思うのは何か」と聞く時、答えが「神の人バプテスマのヨハネのこと」だとは思わないでしょう。

私は、「幼少時代のヨハネとイエスは、どのように一緒に育ったのだろう」と考えていました。

よちよち歩きの頃のイエスについて話すことは、人によってはハードディスクが潰れているみたいに、思考が固まってしまいます。

私たちはそうではないですね。

私たちがバプテスマのヨハネを親しみを込めて見るように、イエスは彼と共に育ちました。

彼らは成長していく中で、全人生に於いて、とても親しい友達だったと思いますよ。

この時彼らは30歳になった頃で、互いの年齢が近いのははっきりしています。

それで、ヨハネはどこにいるかというと、牢獄の中。

ヘロデが投獄したのです。

なぜなら、ヨハネが大胆に真理を語ったから。

ある人たちは、彼は1年以投獄されていたと考えています。

ヨハネは混乱していました。

きっこう考えていたでしょう。

「イエスは、私が投獄されていると聞いたら、すぐにここから出られるようにしてくれるはず。

でも、彼はそうしない。どういうことだ？」

何が起きているのか、ヨハネには分かりません。

これは、全く理にかなわないことでした。

マタイ 11章

ヨハネは非常に疑っていて、イエスがメシア（救い主）であることさえ確信がないのです。

バプテスマのヨハネが。

イエスにバプテスマを授け、その時、彼に鳩のような聖霊が下るのを見た男が。

その場にいる全員が、「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」(マタイ 3:17) という声を聞いたのですよ。

ヨハネは抵抗して言いました。

「私はあなたにバプテスマを授けません。私があなたから受けるのです。

私はあなたの履き物のひもを解く資格もありません。

私はあなたがどなたかを知っています。あなたと一緒に育ったのですよ。

あなたはメシアです！」

ルカ 1章を読んでいると、とても興味深い。

ヨハネの母親エリサベツは何年も不妊でしたが、バプテスマのヨハネを宿します。

エリサベツのいところで、非常に若いマリアは、聖霊によって救世主を宿しました。

マリアは旅をしてエリサベツの所に行き、3か月一緒に過ごすのですが、マリアが彼女に近づいて挨拶をした時、ヨハネがエリサベツの胎内で躍ったと書かれています。

すごいですね。

お父さん、お母さん、覚えていますか。

私は妻が「彼が蹴ったわ！」と言うのが大好きでした。

彼女のお腹に手を当てて、次に蹴るのを待っていて…

当時の私は、自分が何を始めようとしているのか、全く分かってなくて、あれは、ほんの始まりでしたよ。

ヨハネがエリサベツの胎内で踊って、彼女の心は喜びで踊った。

まさにその時、エリサベツは聖霊で満たされました。

30 数年早送りして、ヨハネ、彼は傷ついていました。

理解できなかったのです。

「なぜイエスは、何としても助け出してくれないのか。」

マタイ 11:2-3

2 さて、牢獄でキリストのみわざについて聞いたヨハネは、自分の弟子たちを通じて

ヨハネは牢獄でイエスの働きについて聞きました。

ここはイエスの公生涯の時期ですが、ヨハネは投獄されていたので、起こっていた事全てを目撃することができなかったのです。

そこで2人の弟子を遣わして、こう伝えさせました。

3「おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか。」(私には分からない)

イエスがヨハネに伝えるようにと答えた返答に驚愕します。

マタイ 11:4-6

4 イエスは彼らに答えられた。

「あなたがたは行って、自分たちが見たり聞いたりしていることをヨハネに伝えなさい。」

5 目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、ツアラアトに冒された者たちがきよめられ、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。

そしてもう1つ。

6 **だれでも、私につまずかない者は幸いです。」**

これは、ヨハネがつまずいていたという意味ですか。

ヨハネはイエスによって傷ついたので。

自分が望んでいた事をイエスがしてくれる、と期待していたのに…しなかったから。

ヨハネをあまり厳しく見ないようにしましょう。

主に期待していた事がなされない時、恐れて疑い始める傾向がある自分自身を、よく考えた方がいいと思います。

もしかしたら、今朝ここにいるあなたのこともかもしれません。

この状況で、ヨハネは孤独ではなく、とても良い仲間がいました。

しかし彼らの多くはヨハネのように、大きな疑いと恐れの中で信仰の危機に直面していたのです。

もう1度言いますが、主が非難しているとは決して考えないで下さい。

主はいつも、怖気づき、つまずく者を慰め、励ますのです。

元気を出して下さい。

オズワルド・チェインバーズ (1874-1917) が、かつて言ったことを考えていました。

「神は決して、絶望した事では人を非難しない。」

God never faults a man a woman for despair.

神は私たちの成り立ちを、私たちが塵にすぎないことを知っておられます。

私たちは弱いのです。

マタイ 26:41 **霊は燃えていても、肉は弱いのです。**

注目すべきは、イエスが弟子たちにメッセージを伝え、牢獄にいるバプテスマのヨハネに送り返した後、彼を称賛していることです。

マタイ 11:11

まことに、あなたがたに言います。

女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れませんでした。

聖書に出て来る人たちを、自分のようなリアルな人々として見ないなら、大きな間違いを犯していると思います。

私たちは少なからず、「だって、これはバプテスマのヨハネですよ！」と彼らを現実から追い出し、別の世界に置いているのです。

バプテスマのヨハネは、あなたや私のような者なのですよ。

ペテロを見ましょう。

私はペテロが大好きです。

栄光の中で彼と会うのが本当に待ち切れません。

彼は全くすごい男で、非常に情熱的、そして感情的であるようにも見えます。

喜怒哀楽の感情は何も悪いことではありません。

ただ、それらがあなたを捕らえないように。

ある人がこう言っています。「感情は良いしもべであり、恐ろしい主人である。」

イエスには感情がありました。

マタイ 12:20-21

20 傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともない。さばきを勝利に導くまで。

21 異邦人（諸国の民）は彼の名に望みをかける。

ペテロがイエスを3度否定した後、興味深い事が詳しく書かれています。

ルカ 22:61 主は振り向いてペテロを見つめられた。

彼はイエスと目が合った。

「やってしまった…信じられない…」

きっと、恐れてひるんだでしょう。

サタンがそこにいなかったなんて、全く考えないで下さい。

イエスが言った通り、麦のように彼をふるいに掛けようとしたのです。

ルカ 22:31 サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。

ああ、ペテロ…

「おまえはやってしまった。3度もイエスを否定した。もうおしまいだ。」

彼はそう信じたので、だから漁業に戻ろうとしていた。

イエスが彼の前に現れたのは（3回ですよ）、彼を回復させるためでした。（ヨハネ 21 章）

ペテロは傷んだ葦。

ヨハネは傷んだ葦、くすぶる灯芯です。

パウロがⅡコリント 4 章で書いていることを見ましょう。

Ⅱコリント 4:8-11

8 私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。

途方に暮れますが、行き詰ることはありません。

9 迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。

なぜなら、

10 私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。

これはとても重要です。よく聞いて下さい。

それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。

分かりましたか。ついて来て下さいね。

11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。

あなたは砕かれ、傷つけられ、倒されている。

弱って、何とかギリギリで保っている。

「わたしについて来たいか。」「はい。ついて行きます。」

「わたしの弟子になりたいか。」「はい。」

「分かった。では、これをしなければならぬ。死ぬことと、自分の十字架を負うこと。

自分自身を十字架につけて、死ななければならない。

なぜなら、十字架につけられたいのちは復活のいのちだから。」

それがカギです。

Ⅱコリント 4:11-12

11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。

それはまた、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において現れるためです。

12 こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働いているのです。

死のことばかり語っていて、何か不健全ですよ。

しかし、それは起こらなければならないのです。

自分自身に死ぬことで。

今日私たちの多くは、特に終わりの時代にいる私たちは、激しく圧迫され、傷んだ葦のように、くすぶる灯芯のように当惑し、打倒されています。

しかし神は、私たちを決して打ち壊しません。

決して離れず、見捨てない。

主は世の終わりまで、いつまでも私たちと共にいます。

「先生、あなたが言っている事に感謝します。

ですが、失礼ながら、私が今通っている状況が、あなたには分からないのです。」

私たちは世界中から送られて来るたくさんの祈りの課題に、ただ涙していると話しましたね。

私は時に（私がそのように造られたからだと思いますが）、その祈りの課題を我が事のように受け止めてしまいます。

「ああ、主よ…」

すると主が優しく「わたしが、それに対処した。」「わたしが代価を払い、打ち負かした。」と教えて下さる。

「ええ。でも、あと数日、良くて1週間の命だと言われました。」

「知っているよ。しかし、わたしがそれを打ち破った。」

先週、本土にいるキリストにある姉妹から聞いた話で、彼女にはステージ4の癌があり、母親を12か月前に亡くし、父親も同じくステージ4の癌。

また、今朝キリストにある素晴らしい兄弟から聞いたばかりですが、彼の娘が昨日、突然亡くなりました。

「主よ、私には理解できません。全く分からない。」

「主よ、なぜあなたは、これが起こるのを許されるのですか。」

私がキリストにある偉大な権威と力によって言いたいのは、この復活祭の時、あなたが何に直面していても、それは、あなたの人生を最終的に決定づけるものではないということ。

その試練や痛みや苦悩、夜の暗闇、それらは最後を決定づけるものではない。

神に最終決定権があるのです。

最後の決定づけた言葉を知っていますか。

「完了した。」

そしてイエスはよみがえりました。

イエスは死を打ち破り、サタンは打ち負かされたのです。

私がこれを話す時、私のことを変だと思わないようにお願いします。

時々、私は大声で叫びます。大声で宣言するのです。

変なことをしていると言えるかもしれませんが、それには意味があります。

サタンは私の思考を読むことはできないけど、私の声を聞くことができる。

だから大声で宣言するのです。

「サタンよ、おまえは嘘つきだ！」「私はおまえを信じない！」「おまえは打ち負かされた敵だ！」

そしてイエスを見つめて言います。

「イエス様、感謝します。」

サタンは逃げ去らざるを得ない。

もっと言うなら、サタンは逃げたいのです。

ただイエスの御名を言うだけで、サタンは耐えられません。

なぜなら、イエスは私たちのために勝利されたから。

使徒パウロは、「イエスを死からよみがえらせた神の力」と書いています。

霊の領域で死からよみがえらせた神の力が、どれほどの力か想像して下さい。

イエスは神の人 (Godman) ではなく、完全に神であり、完全に人であられたと述べています。

内に宿る聖霊によって、それと同じ力をあなたも得ていることを知っていますか。

私たちにはその力、聖霊の力がある。

だから**ピリピ 4:13**の学びで見た、パウロが宣言しているその箇所が大好きです。

ピリピ 4:13

私を強くしてくださる方 (キリスト) によって、私はどんなことでもできるのです。

これが、よみがえりの力。

私にはその力がある。

I ヨハネ 4:4

あなたがたのうちにおられる方は (私たちの内にある力は)、この世にいる者よりも偉大だからです。

ヨハネ 16:33

勇気を出しなさい。わたしは (イエスは) すでに世に勝ちました。

「この世では苦しみ、痛みや悩み、困難や悲しみがある。しかし、勇気を出しなさい。

なぜなら、わたしは死からよみがえったから。

わたしは死に打ち勝ち、死はもはや棘を失った。

わたしは天に昇り、生きている。そして、わたしは戻って来る。」

待ち遠しい。

決まり文句のように聞こえると思いますが、イエスは私たちの全ての罪の代価を払って下さいました。

じっくり考えて下さい。

罪がもたらすものは死ですね。

あなたの全ての痛み、苦しみの核は罪ではないですか。

私たちが苦しむのは自分自身の罪か、誰かの罪によるもので、その結果が痛み、苦しみ、悲しみなのです。

罪のために。

ちょっと待って。

サタンは自分が打ち負かされた敵だと知っていて、それをあなたに知って欲しくないから、まさに今の時間でさえ、人生を自由にするこの真理をあなたに掴んで欲しくないのです。

それは、「イエスは、私たちの全ての罪の代価を払って下さった。

それゆえ、罪の結果から来る苦しみや痛みなど全てのものに、私たちは勝利した」ということ。

復活祭の日、ここで皆で主のよみがえりを祝福していますが、私たちにとって、これが何を意味するのか理解していますか。

それは、良い知らせ (Good News) です。

もう終わったのです。勝利しました。失望しなくていい。恐れて疑わなくていい。

バプテスマのヨハネに関して、もう1つ付け加えたいのは(今日彼を違った見方で見るようにと願います)、ヨハネの元に弟子たちが戻って来た時、彼の反応はどうだったのかということ。

マタイ 11:2-3

2 さて、牢獄でキリストのみわざについて聞いたヨハネは、自分の弟子たちを通じて

3 イエスにこう言い送った。

「おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか。」

イエスが何を言うか予想しながら、ヨハネはただただ待っていました。

私は、彼は心の奥でこう願っていたのではと思います。

弟子たちが戻って来て、「ヨハネ先生、イエスの所へ行って来ました。

残念ですが考え違いでした。良くお聞き下さい。

『悪霊を追い出したり、ツァラアトを癒したりしてとても忙しいけれど、あなたのことを忘れてはいない。できる限りのことをしてみるつもりだ。』

しかし、これがイエスからの返事です。

「わたしがメシアだ。

あなたが自分の状況に疑問や疑いを持っていて、信仰の危機にあるということをわたしは知っている。

あなたが投獄されたままでいて欲しくはないが、わたしがあなたを牢獄から解放しないことで、あなたが傷ついているのをわたしは知っている。

わたしには分かっている。大丈夫だ。」

今日、試練の牢獄の中に置かれている人がいるかもしれません。

事実を言うと、あなたは失望し、幻滅して、混乱しているでしょう。

「なぜ…」と。

ヨハネに何が起こったか、知っていますね。

弟子たちが返事を伝えに戻った後、すぐに斬首されました。

マタイ 14章 だったと思います。

ヨハネがヘロデによって処刑されたことは、イエスに本当に影響を与えました。

だからこそ、イエスは群衆から離れて1人で寂しい所へ行ったのです。(マタイ 14:13)

どう思いますか。

私は、ヨハネは返事を聞いた時、それを受け入れたと考えます。

「分かった」と。

彼は先達のヨブのように言えたでしょう。

ヨブ記 13:15 「神が私を殺しても、私は神を待ち望み、(神をたたえ、信頼する)」

エステル記 4:16 「私は、死ななければならないのでしたら死にます。」

主の御名に祝福あれ。

もし、そんな終わり方であったとしても、

Ⅱコリント 5:8 むしろ肉体を離れて、主の御元に住むほうが良いと思っています。

なぜなら、主は死に勝利したから。

主はよみがえりの主。

だから私も主と共に、主によって、主のゆえによみがえるのです。

これが福音です。良い知らせです。

イエス・キリストの福音と呼ばれているものです。

I コリント 15:1-2

1 兄弟たち。私があなたがたに宣べ伝えた福音を、改めて知らせます。

あなたがたはその福音を受け入れ、その福音によって立っているのです。

2 . . . この福音によって救われます。

何から救われるのですか。

永遠の地獄から。

「最近、地獄は永遠ではないという教えがあるのを聞いているよ。」

それは間違い、偽りです。

私たちは全員、どこかで永遠を過ごすのです。

そして誰かが滅びることは、御心ではありません。

II ペテロ 3:9

だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

ある人が言いました。

「神が人々を地獄に送るのではない。

死んでよみがえったキリストの体を越えて、自分で地獄に行くのだ。」

そのためにイエスは来て、十字架にかかり、私たちの身代わりとなって死なれ、血を流された。

そのためにイエスは墓からよみがえり、死に勝利された。

私たちの罪の代価を全部支払って下さったのです。

I コリント 15:2-4

2 私がどのようなことばで福音を伝えたか、あなたがたがしっかり覚えているなら、この福音によって救われます。

そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。

3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。

最高に大切なことは、

キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、

これが福音、イエス・キリストにある救いの良い知らせです。

私たち一人ひとりのためにイエスがして下さったことによって、あるものが提供されました。

それはタダで提供される無償の贈り物、永遠のいのちです。

しかしそれは、イエスにとっては無償ではありません。

彼は全てを犠牲にし、全代価を支払いました。

それで私たちは、支払い不要の救いを受けることが可能になったのです。

支払いなしの永遠のいのちの贈り物。

男性も女性も子供も全て、一人ひとりに。

注意しなければならないのは、責任を負う年齢に関するつまずき。

私たち一人ひとりが、この質問に答えることになります。

「イエスがあなたのためにしたことによって、あなたに無償で提供されたこの贈り物に対し、あなたは何をしたか。」

これが、永遠をどこで過ごすかを決定する質問です。

では、『救いの ABC』をお伝えして終わりたいと思います。

これは子供のようにシンプルな応答で、人としてのイエス・キリストによって十字架で完了され、全て支払われた永遠のいのちの贈り物に対する応答です。

私は、牧らせて頂いているこの教会の全員が、神の霊によって新生していると決めつけてはいません。

インターネットで観ているたくさんの人たちのことも同様です。

実際、皆さんの中の何人かは、主がコンピューター画面にこれを出したから観ているのです。

これはあなたのためです。

残された時間はとても短い。

主が戻って来て教会が携挙される時がどれほど近いのかを、誰も理解していません。

私たちは毎週この話を、どれほど近づいているかを話しています。

約2年前、主は私の心に、福音を分かち合うように、そして無償の贈り物である救いを受け取るための招きをするようにと強く語られました。

主が私に強く迫ったわけは、あと2年もないかもしれないからだと思っています。

「先生、その日を定めるといって危険なことをやり始めたりしませんよね。」

しませんよ。

私がやること、し続けることは、「主の再臨がすぐそこまで来ている」という警報を鳴らし続けること。

今がその時、今日が救いの日です。

これは人生の中で最も重要な、永遠のいのちのための決断なのです。

ABCの「A」：神に対してあなたが罪を犯したこと、救い主が必要であることを認める (Admit)・認識する (Acknowledge)

「今日死んだら、あなたは天国に行く？」と質問した時の1番多い答えは「Yes」

「どうして？」「だって、私は良い人間だから。」

地獄には良い人間がたくさんいて、天国にはとても悪い人間がたくさんいる。

私は天国のそれらの人の最前列にいる者です。

ローマ 3:10 義人はいない。一人もない。

ローマ 3:23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず

私たちは皆、生まれながらの罪人です。

だから天国に入るためには、霊的に新しく生まれ変わらなければならないのです。

ローマ 6:23 罪の報酬は死です。

しかし神の賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠のいのちです。

これは興味深い。

悪い知らせと良い知らせと一緒に詰められているようで、初めが悪い知らせ、後が良い知らせ。

私はこの並びの意味は、とても大切だと思います。

よく聞いて下さい。

自分が罪を犯したということを、本当に理解しなければなりません。

自分が罪を犯したので、神の栄光を受けることができないと認識しなければなりません。

なぜなら、そうしない限り、そうするまでは、救い主に興味・関心を持たないからです。

The (その) 救い主に興味・関心を持つ唯一の理由は、本当に必要性を理解したかどうか。

「私には本当に救い主が必要だ。私は神の律法を破ったし、神の完全な義の基準に達し得ないから。」

十戒を知っていますね。思い出して下さい。

十戒は、この国のあらゆる公共の場から取り去られてしまいました。

皆さんが私と同じようなら、十戒の全部を破ったことはないですか。

「私は誰も殺したことはないよ。」

本当に？

イエスは何と言ったでしょう。「もし兄弟や姉妹を心の中で憎むなら、殺人を犯している。」

「姦淫は犯したことはない。」

それも無理。

だって、あなたが情欲を抱いて見るなら、心の中で姦淫を犯したことになるから。

あなたは律法を破り、法を犯し、罪を犯した。

あなたは的を外していて、救い主が必要なのです。

なぜなら、罪は刑罰をもたらすから。

その刑罰とは死刑です。

イエス・キリストが永遠の世界の法廷に駆け込み入り、死刑宣告が宣言された時に言いました。

「待って下さい。私を電気椅子に座らせて下さい。私が薬殺刑を受けます。私が十字架へ行きます。」

そして裁判官はあなたに宣告します。

「あなたが、あなたの罪の身代わりに死んだイエスを受け入れるなら、良い知らせがある。

あなたの負債は支払い済み。あなたは自由だ。」

♪Oh Happy Day, Oh Happy Day♪

両手を上げて、思い出しましょう。

「イエス様、感謝します！ 私の罪の全てを支払って下さった！」

ABCの「B」：心でイエス・キリストが主であり、神がイエスを死からよみがえらせたと信じる (Believe)

なぜこれがそんなに重要なのか。

イエスは死からよみがえった。

よみがえらなければならなかった。復活しなければならなかった。

イエスの復活がなければ、私たちには希望が全くないから。

ローマ 10:9

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

「私がしないといけないのは、これで全部ですか。」

そうです。自分の罪を認めること。

それは本当の悔い改めで、自分の罪から方向転換して、罪の罰を受けて下さった救い主に向き直るのです。

「私がしなければならぬことは、神がイエスを死からよみがえらせたことと心で信じるだけ？」

それで救われるのですか。」そうです！

「簡単すぎますよ。」

それが言われ続けて来たこと。

あなたはずっと間違ったことを聞かされ続けて来たのです。

「でも、無料の昼食なんてものはないですよ。」 There's no such thing as a free lunch.

そうかもしれません。が、あるのです。

それが、無償の永遠のいのちの贈り物。

ABCの「C」： 主の御名を呼び求める (Call)・口で告白する (Confess ; ローマ 10:9)

ローマ 10:9-10

9 もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

ピリピ 2:10-11

10 それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、
11 すべての口が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。

ある時点で、全ての膝はかがめられ、全ての口、全ての汚れた冒流の舌がイエスは主であると告白します。
待ち切れません。

私がこれを主に求めているのは悪いことでしょうか。

私は今かなり攻撃され易くて、これを本気で考えていました。我慢して下さいね。

私は冒流を、もうこれ以上我慢できないのです。

人々が私のイエスのことを話しているのを聞く時、もう我慢できない。

私のイエス、彼は私のイエスなんです。

これが唯一、私が…パレスチナ人…になるのを妨げていることです。すみません。

知っているでしょう、あの汚れた舌、あの汚れた冒流する口。

それが、イエスが主だと告白するのですよ。

待ち切れません。

私たちは永遠に宣言するのです。

最後の箇所です。大好きなところ。

ローマ 10:13 「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。

ご起立下さい。

主よ、可能かどうか分かりませんが（実際、本当は不可能ですが）、私たちがどれほどあなたを愛し、あなたに感謝しているかを十分に、適切に表現することはできません。

イエス様、感謝します。

イエス様、私たちのために、十字架で死んで下さったことを感謝します。

イエス様、私たちのために、死からよみがえって下さったことを感謝します。

イエス様、今あなたが父の右に座しておられることを感謝します。

イエス様、あなたがもう間もなく戻って来られ、私たちをこの世から取り去って下さることを感謝します。
あなたがいるところに、私たちも共にいることができますから。

そこは私たちのために、あなたが天の父の家に準備しておられる場所です。

主よ、この教会やインターネットで観ている人の中で、まだ1度も主を呼び求めたことのない人、心で信じたことがなく、あなたに対して罪を認識したことがない人、口で告白したことがなく、あなたを呼び求めたことのない人がいるなら、私は今日祈ります。

この復活の日に、彼らがイエス様を呼び求め、救われますように。

主よ、感謝します。イエスの御名によって。

アーメン。

^^^

「きょう、もし御声を聞かならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオヘへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi